社会福祉法人　児童養護施設
花園精舎
HANAZONO SEISHA

ANNUAL JOURNAL / 2023

HANAZONO JOURNAL

子どもたちとともに紡ぐ、一年の記録。



2023

社会福祉法人 花園精舎
ANNUAL JOURNAL

CONTENTS

この一年の、小さな一歩。

令和5年度の活動を振り返って

03 新年のご挨拶
理事長兼施設長より

04–05 一年の振り返りと広報
再開した日々／新しいパンフレット

06 新入園・入学お祝い会
未来への一歩を祝って

07 地域交流
新しい庭での縁日

08 小学生キャンプ
自然の中で広がる経験

09 中高生の宿泊行事
和歌山への二日間

10 合同運動会
仲間とともに挑んだ舞台

11 祝勝会
準優勝を、みんなで祝う

12–13 USJ招待イベント
特別な一日の思い出

14 クリスマス会
笑顔に届く、温かな贈り物

15–16 施設内研修
人材育成／医学知識の向上

17 ご支援への感謝
寄付・寄贈のご報告

18–19 巻末のご案内
お見舞い／窓口と発行情報

20 お問い合わせ
施設所在地・連絡先

本誌は令和5年度の施設だより（令和6年1月10日発行）を再構成したものです。
掲載写真には、個人情報保護のため顔部分に加工を施しています。
表紙・裏表紙は、日常の遊びやつながりをイメージした生成画像です。

MESSAGE

再びもどった日々を、元気に。

新年のご挨拶



社会福祉法人 花園精舎

理事長兼施設長　照井眞哉

新年あけましておめでとうございます。平素は、花園精舎施設運営の為、ご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。本年もコロナ・インフルエンザの感染に注意を払い元旦を迎えることとなりましたが、児童全員元気にお正月を過ごすことが出来ました。

これも職員の日々の予防対策のおかげだと感謝しております。さて、世界中に猛威を振るわせたコロナ感染症も昨年5月より感染法上で第5類に移行されそれによって街にも活気がもどってきました。花園精舎の子ども達の年間行事も復活して5月のプレキャンプ・8月の小学校赤目キャンプ・中高生達の宿泊行事等外泊行事も3年ぶりに行ない、その他の行事も以前通り実行し楽しむ事が出来ました。

子ども達や職員も大喜びでした。コロナ感染が発生し世の中がどうなるのかと心配な日々・生活が続きましたが、ようやく普通の生活にもどれる様になりました。その間保護者の皆様方には弊舎の方針にご協力頂きありがとうございました。

令和6年を迎えましたが、再びコロナ・インフルエンザの感染が増えてまいりました。第5類になり少し気が緩んだかも知れませんが、再びもどった日々を楽しく元気に過ごせる為にももう一度職員一同予防対策に心がけ安心・安全な生活をおくっていける様願っております。

最後に、毎年花園精舎にご支援・ご協力頂いております、皆様方には心より御礼申し上げます。

子どもたちの未来へ、歩む。

令和5年を振り返って



総務兼児童指導員　照井道良

令和5年は、長らく続いたコロナ禍の収束に向けた希望の光が差し込む年となりました。2023年5月8日には、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に位置づけられ、これまでの法律に基づく外出自粛の要請がなくなりました。これにより、個人や事業者の判断による感染対策が基本となり、当施設でも自粛が続いていたイベントが多く再開されました。

さらに、物価高騰が続く中での生活や、子どもたちの権利擁護に関する新たな制度も始まろうとしております。私たちはこの変化に適応し、柔軟に対処し、新たな挑戦に取り組む決意を固めております。これからも皆様のご支援と協力をいただきながら、子どもたちのより良い未来に向かって歩んでいくことを願っております。

紙から、ウェブへつなぐ。

新しいパンフレットの作成



原本掲載のパンフレット

今年度、持ち運びに便利な新しいパンフレットを作成しました。このパンフレットでは従来のものより情報量を削減し、代わりに当舎のウェブサイトへのリンクをQRコードとして掲載しました。これは紙よりもスマートフォンを見る時間が長い今の若者に対応した戦略であり、人材確保における費用対効果を高め、パンフレットからウェブサイトへ、そして求人申し込みへの流れを効率化する狙いがあります。

未来への一歩を、祝って。

新入園・入学お祝い会







4月に行われた新入園・入学お祝い会について、このお祝い会は、普段は小さなことでトラブルになったり、泣いたり怒ったりと感情豊かで、元気いっぱいな子どもたちが、制服を着て前に立ち、幼稚園や小中学校へ進学したり、高校生になったりすることで感じるやりたいことや目標をマイクを使って発表する場です。

彼らの成長を感じる瞬間であり、職員を困らせることもある彼らの姿には感動します。毎年の行事となっているこのお祝い会を見るたびに、涙が出てきます。彼らが成長していく様子を見ていると、いつかは巣立っていく日が来るんだろうなと思います。4月に行われた新入園・入学お祝い会は、子どもたちの成長と未来への一歩を祝福する大切な行事となっています。

彼らが制服を着て前に立ち、自分のやりたいことや目標を発表する姿は、まさに心に響く瞬間です。また、このお祝い会では普段のトラブルや感情の激しさとは裏腹に、子どもたちの真剣な表情や一生懸命さが見られます。彼らが幼稚園や小中学校へ進学し、高校生になることで抱く夢や希望をマイクを通して発表する姿は、まさに未来への一歩を踏み出す瞬間です。

このお祝い会を見るたびに、私たち職員も感動を覚えます。彼らの成長を見守りながら、いつかは巣立っていく日が来るんだなと実感します。彼らが幸せな未来を築くため私たちも全力でサポートしていきたいと思います。

新しい庭に、笑顔が集う。

4年ぶりの地域交流／縁日



当舎の新しい庭で縁日を開催しました。新しい園舎で初めて友達を招待するイベントに、子どもたちはワクワクしていました。数日前には友達に招待状を手渡し、それがさらに楽しみを掻き立てました。当日はコイン落としやボーリング、プラ板などのゲームでポイントを獲得し、そのポイントに応じてコインを獲得できました。

そして、そのコインを使って駄菓子屋コーナーで駄菓子と交換することができるようにしました。各ブースを屋台風に演出し、縁日の雰囲気を楽しませました。新しい友達との交流を通じて、学校とは異なる新たな経験を楽しんだ当舎の子どもたちや彼らの友達からは、多くの笑顔が見られました。

自然の中で、経験を重ねる。

小学生キャンプ



原本掲載写真：ゴールデンウィーク行事・春キャンプ

令和5年の夏に行われた小学生向けのキャンプが、子どもたちにとって非常に楽しみな出来事となりました。4月中旬になると、子どもたちはキャンプに対する興奮が高まり、質問が増え始めました。"今年はいつ行くの?"や"キャンプの詳細はいつ教えてくれるの?"など、楽しみにしている様子が伝わってきました。

キャンプ場に到着すると、まず職員からの説明を受けた後、川や陸での様々な活動や職員の指導を楽しみました。川での遊びでは、子どもたちはこの日のために貯めたお小遣いで買った水鉄砲で水の戦いを楽しんだり、魚を捕まえるために網を使って川の中を探索したりしました。

それぞれが川で楽しみたいことをして、満面の笑顔で時間を過ごしました。また、園長先生や副園長先生が訪れた際には、子どもたちと一緒に魚釣りを楽しみました。釣りの初めての経験に興奮し、釣り竿に興味津々で取り組みました。待つことが難しかったかもしれませんが、それでも魚釣りの難しさと楽しさを学ぶ貴重な機会となりました。

陸上での遊びでは、ボールやバドミントンなどの球技や、虫取りや鬼ごっこなど、子どもたちは自分たちが楽しいと思う遊びを存分に楽しみました。普段あまり接触しない職員との交流を通じて、新たな経験をしました。食事の時間では、特に上級学年の子どもたちが職員の手伝いをしてくれました。

初めてのことに戸惑いもあったかもしれませんが、包丁を使ったり、お米を洗ったりする手伝いを積極的に行いました。料理を通じて、自分たちで料理する楽しさと料理をする人々の大変さを理解する良い機会となりました。このキャンプは子どもたちにとって非常に貴重な経験となりました。

彼らの笑顔と楽しそうな表情を見ながら、キャンプの意義と仲間との協力の大切さを再確認しました。職員と子どもたちが一体となって楽しい時間を過ごし、自然とのふれあいや新しいことに挑戦する機会を提供することは、彼らの成長にとっても素晴らしいことでした。園長先生は子どもたちに釣り竿の使い方や釣りのコツを丁寧に説明してくれました。

釣り糸を川に垂らし、興味津々で竿を待ちました。最初はなかなか難しいものでしたが、子ども達は忍耐強く取り組み、園長先生のアドバイスに耳を傾け、竿をじっと待つことで、ついに魚がかかりました。今回の経験は、子ども達に自然とのふれあいや新しい喜びを教えることができ、それぞれの成長と学びにつながったと感じました。

2023.08.17–18

仲間と出会う、旅の景色。

中高生の宿泊行事／和歌山旅行







8月17日から18日にかけて、中高生向けの宿泊行事が行われました。和歌山旅行では、青春18きっぷを利用し、特急電車ではなく普通電車とバスで目的地に向かいました。最初に訪れたのは和歌山県の平和祈念資料館で、第二次世界大戦で使用された実物が展示されており、子供たちは目で見て戦争の残酷さや悲惨さを実感しました。

その後、ホテルにチェックインし、子供たちはホテル内のアミューズメントでお風呂までの時間を楽しく過ごしました。夕食ではバイキングを堪能し、自分の好みの料理をお腹いっぱいになるまで楽しみました。夜には予約していたホテル内のカラオケで、みんなが楽しそうに歌いながら素敵な1日を締めくくりました。

2日目はシーカヤックと陶芸で分かれました。シーカヤックでは協力してボートを漕ぎ、2人で息を合わせないと進まない難しさと広い海での気持ちよさを味わいました。陶芸では初めての挑戦もありましたが、時間とともに上達し、最終的に満足のいく作品が完成しました。帰りは特急電車で大阪に帰り、疲れた子どもたちは電車でぐっすり眠っていました。

中高生の宿泊行事は初めての子どもたちも楽しんで、安全に終えることができました。これからも子どもたちが楽しめる行事を企画し、良い思い出と成長の機会を作っていきたいと思います。

心をひとつに、挑む。

東大阪市福祉会合同運動会



10月15日に東大阪市福祉会合同運動会が行われました。運動会ではどの競技でも白熱し、子どもたちの応援にとても熱が入り、盛り上がりを見せました。リレーでは中々良い結果を残すことができず、みんな悔しそうな表情を浮かべていましたが、縄跳びではなんと1位を取ることができました。

本番まであまりみんなが集まって練習する時間もなく、練習中はあまり飛ぶことができませんでしたが、いざ本番を迎えると、共同生活の中でしか生まれない結束力により、息のあったジャンプを見せてくれました!『幼児さんの種目』では小さな体で頑張っている姿が可愛く、見ていてとてもほっこりしたり、子どもたちの力強い応援が見られて大盛り上がりでした。

メインイベントの応援合戦のダンスでは毎晩中庭で練習を頑張っていました。最初はダンスの苦手な子どもたちは中々思うように踊ることができず、苦戦していましたが、本番が近づくにつれて踊れるようになり、最初は息が合っておらずバラバラだったダンスも、本番にはみんなの息のあった素晴らしいものになっていました。

本番では練習より素晴らしいパフォーマンスでダンスを踊ることができ、子どもたちも、職員も満足のいくダンスでした。しかし惜しくも2位という結果になり、悔しさが少し残りましたが、昨年は1位で、今年は2位という素晴らしい結果を残すことができたと思いました。今年のダンスは、卒園する子どもたちとダンスを担当した職員が協力して振り付けを完成させ、指導してくれました。

今年の2位という結果は嬉しさもありますが、1位を取れなかった悔しさを子どもも、職員も感じたと思います。来年はこの悔しさをバネに、最優秀応援賞を勝ち取りたいと思います。

みんなで祝う、準優勝。

応援合戦の祝勝会





交流ホールのテレビにて自分達の映像を見ながら食事を楽しむ子ども達が、楽しい時間を過ごしていました。交流ホールでは、さまざまなメニューが提供されており、子ども達はデリバリーを利用して、自分の好きなメニューを注文しました。注文したメニューを待ちながら、子ども達はお祝いの雰囲気を盛り上げました。

お祝いの瞬間には、笑顔や歓声が交わされ、子ども達の楽しさが溢れていました。東大阪市福祉施設合同運動会での応援合戦において、準優勝を勝ち取りました。約1ヶ月半前から、毎日ダンスの練習に励んできました。昨年に最優秀賞を獲得していたこともあり、職員と子ども達の練習にも熱が入っており熱心に取り組む姿が印象的でした。

時折職員と子ども達の意見がぶつかることもありましたが、話し合いを重ね、職員と子どもたちが互いを理解し合うことでトラブルは解消されていきました。祝勝会では、施設内で運動会のDVDを見ながらデリバリーを楽しみ、みんなで和やかに食事を楽しみました。特に冬の暖かい部屋で食べるアイスクリームは格別で、みんな楽しんでいました。

一方、中高生チームは外食でサイゼリアへ、中高生の食欲には驚かされましたが(笑)、高校3年生たちの中には今年が最後の大会であることを感じさせる寂しさを抱いている様子も見られました。昨年に続き、今年も賞を獲得できたことを大変嬉しく思います。来年の応援合戦も楽しみです!

2023.11.18

待ちわびた、特別な一日。

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン招待イベント



11月18日、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンへの招待イベントに参加させて頂きました。子どもたちは前日の夜も中々眠れず、朝早くから目が覚める子どもたちもいました。彼らのワクワク感が、ユニバーサルへの楽しみを如実に表していました。朝は残念ながら天気が思わしくなかったですが、それでも集合時間になると、「このジェットコースターに絶対乗るぞ！」や「〇〇くん、一緒に回ろうぜ！」という楽しそうな声が飛び交っていました。

入場後、スタッフからの軽い注意事項や集合時間の案内を受けた後、チームに分かれました。それぞれのチームは、ユニバーサルの様々なエリアで楽しむことができました。

楽しい時間を、分かち合う。

USJ招待イベント／続き



アトラクションの待ち時間や列の中では、子どもたちは笑顔でおしゃべりを楽しんだり、一緒に写真を撮ったりしながら、次のアトラクションへと進んでいく様子が伺えました。昼食や休憩の時間には、みんなで一緒に食事をしながら今までの思い出を振り返り、次にどのアトラクションに行くかを相談したりしていました。

昼食後には、別のチームのメンバーと合流し、一緒にアトラクションやショーを楽しむことができました。普段はあまり接点のない子どもたちが交流し、親睦が深まったように思います。帰りの電車では、1日の感想や思い出話を分かち合いながら、特別な日を締めくくることができました。

笑顔に届く、温かな贈り物。

クリスマス会とプレゼント







今年も例年同様に、恒例のクリスマス会を開催しました。新型コロナウイルスの終息を受けての開催となった今年のクリスマス会では、職員を中心に様々なイベントを企画しました。クイズやジェスチャーゲームから始まり、ビンゴ大会ではドーナツなどの景品を狙って、子ども達が大いに盛り上がりました。

イベントの後半では、各ユニットから特に頑張った子どもたちに表彰と豪華なプレゼントを贈呈しました。東大阪市会議員のいごしちかよさんをはじめ、今年も多くの方々から花園精舎の子どもたちへクリスマスプレゼントをいただきました。このプレゼントは子どもたちにとって特別な思い出となり、彼らの笑顔をたくさん見ることができる素晴らしい機会となりました。

このような支援のおかげで、子どもたちは喜びにあふれた特別な時間を過ごすことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

2023.09.09

ともに学び、育てる。

Z世代の理解と人材育成／講師：堀口節子氏



背景

花園精舎では、Z世代の若者が多くを占める現在の施設職員に対して、より適切な指導方法や育成方針を見つけ、早期離職を防止するための研修プログラムを実施することが必要と考えました。これにより、組織全体の人材育成力の向上と持続的な成長を促進することを目指しました。

目的

本研修プログラムの目的は、以下の点を達成することです。1. Z世代の特徴を理解する。2. 研修期間中のマニュアル作成の必要性について検討。3. 世代間での問題解決方法の違いの議論。

実施内容

当日は、四條畷学園大学の臨床心理研究部所長である堀口節子氏を講師に招き、Z世代の特徴や価値観についての解説が行われました。堀口氏の講演では、現在の指導方法に変更が必要かどうかを考えるための示唆に富んだ議論が促進され、研修参加者は深い洞察を得ることができました。

その後、グループワークが実施され、研修参加者が業務における問題解決方法や指導方針についての意見交換を行いました。この場を通じて、参加者たちは自らの課題や発見を共有し、新たなアイデアを生み出すことができました。

研修結果

本研修プログラムを通じて、参加者たちはZ世代の特徴や価値観を深く理解し、それに基づいた効果的な指導方法や育成方針を模索することができました。また、マニュアルの作成に関する必要性や世代間での問題解決方法の違いについての議論も行われ、今後の指導方針に反映されることが期待されます。

今後の展望

今回の研修を通じて得られた知見を活かし、より適切な指導方法や育成方針を実践に移し、早期離職を防止する取り組みを強化していく予定です。さらに、定期的な研修や情報共有の場を設けることで、組織全体の人材育成力の向上を図っていきます。

2023.12.08

日々の支援に、学びを生かす。

医学知識の向上／講師：元耳鼻科医 甲田嘉彦氏



目的

本日の研修は、保育士の方々が医学知識を向上させるため、そして医療に関する専門家である甲田先生とのディスカッションを通じて、より高度な医療サポートを提供できるよう目指しました。

研修内容

研修では、事前に保育士の方々からアンケートを収集し、それに基づいて甲田先生が回答しつつ、ディスカッションを行いました。甲田先生は耳鼻科医としての経験を踏まえ、保育士から寄せられた質問や疑問に丁寧に答えながら、医学の基礎知識や医療の実践に関する知見を共有しました。

これにより、参加者は日常の保育業務における医療サポートの方法や、疾患や症状に対する理解を深めることができました。

研修結果

研修の結果、参加者は保育活動における医療サポートの重要性を再認識し、医学知識の向上に向けた取り組みを強化することができました。また、甲田先生からの貴重な知識やアドバイスを通じて、参加者たちはより自信を持って医療に関する課題に取り組むことができるようになりました。

今後の展望

今回の研修を通じて得られた知識や経験を生かし、当舎保育士がより質の高い支援を提供できるよう、引き続き研修や勉強会を企画していく予定です。また、甲田先生とのディスカッションを通じて得られた経験を元に、今後も医学知識の向上に努めてまいります。

WITH GRATITUDE

温かなご支援に、感謝を。

寄付・寄贈のご報告

皆様のご厚意が、子どもたちの日々の暮らしを支えています。

一般財団法人 H2Oサンタ

イケア・ジャパン株式会社

公益財団法人JEO・子どもに均等な機会を

株式会社Daska＆Desiree

安楽寺

平農園

神谷柊伍

沖本喜美恵

株式会社カーブスジャパン フードドライブ事務局

株式会社セフティ

株式会社ラミーコーポレーション

大阪府玩具・人形問屋協同組合連合会

株式会社マルハン 水走店・中石切店

株式会社ユーエイ

株式会社マジックラシーバ

一般社団法人 日本生活文化推進協議会

協同組合 大阪紙文具流通センター

有限会社 広新

横内順子

協同食品株式会社

門司一徹

真宗大谷派難波別院

一般財団法人 播磨屋記念財団

立住直基

ブレイクスルー株式会社

一般社団法人 全国食支援活動協力会

会見光宏

NPO法人 子どもセンターあさひ

株式会社クオンテックス

株式会社チュチュアンナ

株式会社フレーベル館

Costco Wholesale Japan

三井敦史

富山県新川ブロック農協青壮年組織協議会

希望のひかり基金

株式会社広拓

株式会社 カプセルZ

大阪府遊技業組合連合会

株式会社 ゆうちょ銀行

河内家保丸会

築山順一

康熙満（奥田亮）

大西昭子

一般社団法人生命保険協会

本郷太鼓台保存会

万代基金クリスマスプレゼント代

森本苅子（弁護士：吉田健太郎）

田邉正秀

康熙満（奥田亮）

ダイワ株式会社

尾形龍一

全国シャンメリー協同組合

掲載順・名称表記は原本に準じています。

WITH SYMPATHY

お悔やみと、お見舞い。

令和6年能登半島地震に寄せて

本年1月1日、新年の幕開けと共に発生した「令和6年能登半島地震」は、私たちに計り知れない悲しみをもたらしました。元旦という希望に満ちた日が、突如として哀しみに変わった瞬間、多くの尊い命を亡くされた方々のご冥福を心よりお祈りいたします。

被災に遭われました皆様に衷心よりお見舞い申し上げるとともに、この困難な時期に尽力されている福祉施設や医療機関の関係者の皆様に対し、感謝を申し上げます。この地震によって、数多くの家庭が大きな被害を受け、多くの方が避難所で新年を迎えることとなりました。

私たちは、皆様が一日も早く平穏な日常が訪れますことを、心から願っています。

社会福祉法人 花園精舎

理事長　照井眞哉

INFORMATION

安心して暮らすために。

苦情申し出窓口と発行情報

苦情申し出窓口

社会福祉法人花園精舎では、子ども達が明るく元気に安心感を持って生活を送れる快適な生活環境作りのため、意見・苦情に応じられるよう体制を整えています。

苦情解決責任者	照井眞哉（施設長）
苦情受付担当者	田中陽子（事務員）
第三者委員	土井栄子（監事）／鈴木啓介
お問い合わせ	072-962-2132

発行情報

HANAZONO JOURNAL 2023

令和5年度 施設だより

原本発行日：令和6年1月10日

発行：社会福祉法人 花園精舎

編集担当者／広報部

照井道良（総務兼児童指導員）

谷川真理子（保育士）

川村拓磨（児童指導員）

花園精舎 ウェブサイト

https://www.h-seisha.com/

施設の紹介・お知らせなどをご覧いただけます。

これからも、
子どもたちとともに。



社会福祉法人 花園精舎

〒578-0924
大阪府東大阪市吉田5丁目15番14号

TEL　072-962-2132
FAX　072-962-3610

h-seisha@air.ocn.ne.jp
https://www.h-seisha.com/